

科目名		特別講義(Special Lecture)								
学 年	学 科(コース)	単 位 数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数			
第5学年	機械工学科	学修	1単位	必修	講義	後期	45 時間			
担 当 教 員		【常勤】 吉田政司								
学 習 到 達 目 標										
科目の到達目標レベル		企業から数名の講師を招き講義を行う。学生は受講後、報告書を提出する。講師は企業で行われている先端的な技術や実践的な技術、知的財産について講義する。到達目標は①知的財産権について説明できる②企業の研究活動について説明できる。③企業の開発活動について説明できる、こととする。								
到達目標(評価項目)		優れた到達レベルの目安		良好な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
到達目標①		知的財産権について説明できる。		特許の書き方を説明できる。		特許権について説明できる。		特許権について説明できない。		
到達目標②		3社以上の企業の研究活動を説明できる。		2社以上の企業の研究活動を説明できる。		企業の研究活動を説明できる。		企業の研究活動を説明できない。		
到達目標③		3社以上の企業の開発活動を説明できる。		2社以上の企業の開発活動を説明できる。		企業の開発活動を説明できる。		企業の研究活動について説明できない。		
学習・教育到達目標		(D)-(1)		JABEE基準1(2)		(d)-(1)				
達 成 度 評 価 (%)										
評価方法 指標と評価割合		中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合					100					100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】					○					
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】										
汎用的技能 【 】										
態度・志向性(人間力) 【 】										
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】										

関 連 科 目 , 教 科 書 お よ び 補 助 教 材	
関連科目	
教科書	無し
補助教材等	
学 習 上 の 留 意 点	
企業講師を招いて、企業の実際の研究・開発活動について学ぶ。講演概要のレポートの書き方も修得する。	
担 当 教 員 か ら の メ ッ セ ー ジ	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	知的財産権（１）	特許権について学ぶ	レポート
2	知的財産権（２）	特許以外の知的財産権について学ぶ	レポート
3	三菱重工における研究・開発の取り組み（１）	三菱重工における研究・開発活動への取り組みを学ぶ	レポート
4	三菱重工における研究・開発の取り組み（２）	三菱重工における研究・開発活動への取り組みを学ぶ	レポート
5	宇部興産機械における研究・開発への取り組み（１）	宇部興産機械における研究・開発活動への取り組みを学ぶ	レポート
6	宇部興産機械における研究・開発への取り組み（２）	宇部興産機械における研究・開発活動への取り組みを学ぶ	レポート
7	宇部情報システムにおける研究・開発への取り組み（１）	宇部情報システムにおける研究・開発活動への取り組みを学ぶ	レポート
8	宇部情報システムにおける研究・開発への取り組み（２）	宇部情報システムにおける研究・開発活動への取り組みを学ぶ	レポート
9	技術者倫理（１）	企業の社会的責任について学ぶ	レポート
10	技術者倫理（２）	環境問題について学ぶ	レポート
11	安川電気における研究・開発への取り組み（１）	安川電気における研究・開発活動への取り組みを学ぶ	レポート
12	安川電気における研究・開発への取り組み（２）	安川電気における研究・開発活動への取り組みを学ぶ	レポート
13	企業活動の国際展開	企業の国際展開について学ぶ	レポート
14	企業の生産改善活動	企業の生産改善活動について学ぶ	レポート
15	まとめ	授業まとめと授業改善アンケートをおこなう	全体の講義内容の復習
総 学 習 時 間 数			45 時間
講 義			15 時間
自学自習			20 時間